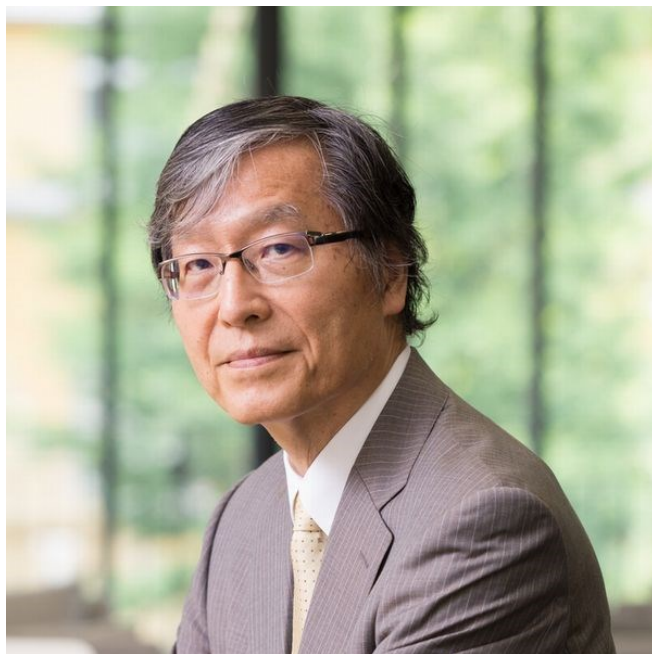


＜募集要項＞
令和5年度

地域戦略人材塾

大正大学 地域構想研究所



小峰 隆夫

大正大学 地域構想研究所 教授

この塾では、地域創生を目指す場合に、有効な手段のオプションを提供し、塾生の皆さんにそれを身に着けて欲しいと考えています。経済社会を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、その中から新しいアイデアが生まれてきています。もちろん、こうした手段をどう組み合わせるかは、各地域が自らの判断で意思決定して行くべきことです。

この塾では、その判断の選択肢を豊かにすることによって地域創生をサポートして行きたいと考えています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

1. 目的

本塾のテーマ

「地域の垣根を超えて、 地方創生の最先端手法を実践的に学ぶ」

- ・地方創生の最先端の手法（ナッジ、フューチャー・デザイン等）を学び、
有効な手段のオプションを提供する
- ・他自治体とディスカッションすることによる、地域の垣根を超えた視野の拡大機会を提供する

2. 内容

令和5年度は、これまでの受講の内容から一部を組み替え全16回（約10ヶ月）の講義でお届けします。

自治体の職務に役たつものや、より先端的手法を学ぶことで、各自治体の課題解決に向けた実践知を身に着けることを目的としています。また、各教科の分野について造詣の深い専門家の招聘や、国の最新の政策動向について各省庁の担当官から情報提供を受ける機会も提供していきます。

3. 受講資格

原則として、本学と包括連携協定を締結している自治体または地域共創コンソーシアムに加盟の自治体で、当該自治体の将来を担う若手及び中堅の職員

募集人数： 20自治体程度（科目ごとの単科参加も可能）

4. 参加自治体からの声

- ✓ これまで新聞や雑誌の記事に目を通しても読み飛ばしていた内容や言葉が、この研修を受講したことで、目に留まる記事が多くなり、学んだことが政策に役立ってるのではないか、という思考をするようになった。
- ✓ 最新の内容をうかがい知ることができ、見識が広がった。自治体職員は普段他の自治体の方々と話す機会がほとんどなく、今回の全国の人材塾の方々と話すことが新鮮で、良い刺激になった。グループワークの時間の雑談がとても楽しく、自治体職員仲間の輪が全国にできた気がした。話しやすかったです。
- ✓ 日々目の前の日常業務に追われている者にとって、先進的な初めて聞くお話が多かったが、わかりやすく解説してもらったので内容は理解できた。
- ✓ 他の自治体の皆さんとのワークで、その取り組みが自自治体でも生かせそうな内容があり、現業に活用できそうに思える。ただ、そのツールをどうやって現場に落とし込んでいったか（ノウハウやそのプロセス、持って行き方）を失敗例も含め情報共有して頂ければありがたい。

5. 受講方法

(1) 講義時間

平日(水曜日)の業務終業後約90分を1コマとし、ディスカッション30分を含む。

一つのテーマは2コマ(2週分)で完結するものとする。

(2) 実施時期

5月～2月の月1～2回程度開催

(3) 受講形式

オンラインによる講義が基本でグループワークを含む。

受講方法およびZoomのURLは申込者にメールで別途お知らせ。

6. 講座スケジュール

1. スタートアップセッション

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
5月24日	水	17:30	17:40	10	開講挨拶	新型コロナウイルスは終息しつつありますが、これを契機に、日本の少子化、人口減少はさらに加速しています。国の異次元少子化対策を評価し、地域はこれにどう対応すべきかを考えます。	大正大学 地域構想研究所 教授 小峰隆夫
		17:40	19:05	90	【開校講義】 人口減少下の地域		

2. ナッジ

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
6月14日	水	17:30	19:05	95	今、政策現場で着目されているナッジを学ぶ	「軽くつつく」といった意味を持つ行動経済学のナッジ（nudge）。昨今は公共政策において、ナッジが幅広く活用されており注目されている。本講では、ナッジの基本的な理論を学び、自治体の政策にどのように生かせるかなど事例を交えて考えていく。	NPO法人PolicyGarage 代表
6月28日	水	17:30	19:05	95	行動経済学とナッジ 講義と実践	具体的な地域課題を題材として、どのようにナッジを政策に組み入れていくのか？その手順をグループワークを中心とした実践で体験してみる。	津田宏和

6. 講座スケジュール

3. 自治体DX

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
7月12日	水	17:30	19:05	95	デジタルの力を活用した地域経済の活性化に向けて（仮） 国のDX政策の最新	高齢化・人口減少や新型コロナの感染拡大等の影響により、地域経済は極めて厳しい状況に直面しているが、社会のデジタル化を背景として、テレワークが普及し、地方移住への関心が高まるなど、新たなチャンスも到来しているといえる。本講義では、2022年12月に策定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」等に基づく政府の取組や地方における優良な取組事例の紹介等を通じて、デジタルの力を活用した地域経済活性化の可能性について検討する。	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官（総括担当） 太田哲生
7月26日	水	17:30	19:05	95	デジタル甲子園の実例	デジタル甲子園に出場した取り組み事例の中から、「デジタルグリーンシティ～前橋の取組～」前橋市の事例をご紹介します。	日本通信株式会社（JCI）／エグゼクティブ・アドバイザー（前前橋市 スマートシティ推進監） 谷内田 修
8月2日	水	17:30	19:05	95	行政デジタル推進の実践事例	2021年、2022年に実際に自治体で実践されたデジタル推進事業をいくつかご紹介いたします。	日本情報通信(株)

4. フューチャー・デザイン

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
9月13日	水	17:30	19:05	95	まちづくりの対話に「仮想将来世代」を組み込む、新しい手法	持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐための社会制度のデザイン手法である、フューチャー・デザイン。本当に将来世代の利益のために思考し、行動するようになるための政策手法を事例を交えながら学ぶ。	総合地球環境学研究所特任教授／ 高知工科大学フューチャー・デザイン 研究所長
9月27日	水	17:30	19:05	95	フューチャー・デザイン 講義と実践	自治体でのフューチャー・デザインの実践例を紹介する。	西條辰義

6. 講座スケジュール

5. 地域ブランディング

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
10月11日	水	17:30	19:05	95	「関係人口」創出とUIターン施策の新潮流（予定） 中間支援組織の在り方や、新しいアプローチについての講義と実践（予定）	2023年夏以降、情勢を鑑みて最新テーマをご案内します。方向性としては、これからの地域活性に欠かせない視点である、新しい働き方やデジタル活用など、新しい方法が模索されている関係人口・UIターン施策について。最新事例を交えて考えていく予定。	調整中
10月25日	水	17:30	19:05	95			調整中

6. 多様な人材の活用

日程		開始	終了	時間	講座名	内容	講師
11月8日	水	17:30	19:05	95	セカンドキャリアと地域での活躍	2023年夏以降、情勢を鑑みて最新テーマをご案内します。	法政大学大学院 政策創造研究科教授 石山恒貴
11月22日	水	17:30	19:05	95	外国人労働者の地域活用	2023年夏以降、情勢を鑑みて最新テーマをご案内します。	大正大学 教授 塚崎裕子
12月13日	水	17:30	19:05	95	受講自治体間 情報交換会	2023年夏以降、情勢を鑑みて最新テーマをご案内します。	

6. 講座スケジュール

【特別講義】★全連携自治体 参加可能★

日程	開始	終了	時間	講座名	内容	講師
1月	17:30	19:10	90	マーケットデザイン 制度設計の科学	マーケットデザインは、数理的なモデルを分析して最適な制度を設計する、いま理論経済学で最も注目されている分野である。講義編では、マーケットデザインとはどういう学問なのか、活用することでどういことが達成できるのかについて紹介する。単に理論を解説するのみならず、講師のチームがこれまで取り組んできた地方自治体への社会実装事例についても紹介する。	東京大学マーケットデザインセンター (UTMD) プロジェクトマネージャー 野田俊也

7. 視察&総括会

日程	開始	終了	時間	講座名	内容	講師
1月予定				先進事例 現地視察会	2023年夏以降、情勢を鑑みてテーマおよび、視察地を確定します。	
2月予定				リアルとオンラインの併用交流会	2023年夏以降、情勢を鑑みてテーマを確定します。	

7. 申し込み方法

以下のいずれかの方法にて受け付けております。

▼下記のHP下部に記載フォームよりお申込みください。
<https://chikouken.org/topics/news/14153/>

または右記のQRコードよりお申込みください。



▼メールでお申し込みの場合

宛先：chikouken_office@mail.tais.ac.jp

件名：【申込】令和5年度地域戦略人材塾

内容：以下の項目について、それぞれご記載ください。

1. 自治体名
2. 受講者所属部署
3. 受講者氏名
4. メールアドレス
5. 電話番号
6. その他ご連絡事項

8. その他

申し込み〆切

令和5年3月29日（水）

受講料

¥50,000 – / 1自治体（別途振込手数料）

※申し込み後、3月末に振込先口座等の支払方法をご案内します

※本学と連携以外の自治体は¥80,000

問合せ

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学 地域構想研究所 事務部 担当 山本恭久

TEL : 03-5944-5482

FAX : 03-5394-3055

Mail : chikouken_office@mail.tais.ac.jp